

世界連邦石川

禅と平和

金沢市・曹洞宗慈船寺住職

齊藤 安彦

平和論は大別して二つあり

ただ今、平口先生よりご紹介をいただきました慈船寺住職の齊藤安彦です。今年の三月頃、先生より世界連邦運動協会石川県連合会総会の席上で、平和について講演をして欲しいとのご依頼がありました。当初は何となく気が重くて、そのような大きなテーマは浅学非才の私にとりましてはとて無理だと感じご辞退しようと思いましたが、日頃からお世話になってる先生からのご依頼なので恥を忍んでお引き受けした次第です。

一口に平和と申ししても人各々の平和論があり、立場立場によって異なるご意見があると思います。そこで私は僧侶としての立場に立った平和の話をしたいと思えます。平和論を大別するとハード論とソフト論に分けられます。

ハード論は武力による抑止力を使うもの。ソフト論は精神面の浄化と向上を目指すものです。

戦争と平和 繰り返しの歴史

私は僧侶です。当然ソフトな平和論を指示します。それは人間の動物的で自己

中心的な傲慢さを排除させるためです。それでも人間社会には最低限度の防衛力は必要と考えています。ここで歴史が示す戦争の原因を挙げてみますと、①領土や資源の奪い合い、②国力や国勢・国益の拡大、③思想や宗教観の対立、



日本の歴史を見て外国との戦争は、鎌倉時代に蒙古の来襲があり、北条氏が防衛しました。戦国時代には豊臣秀吉の朝鮮出兵があり、失敗しています。明治維新後は富国強兵策がとられ、日清日露戦争を経て世界大戦へと突入して行きました。

それは日露戦争後に居残った関東軍が暴走して満州や支那、朝鮮への侵略を図り、その結果戦線が拡大し、遂に世界大戦の末に無条件降伏の敗戦となりました。最近読みましたある講演記録に「日本の大東亜戦争は日

世界連邦石川県連合会 題字は 杉山 栄太郎

発行所
世界連邦石川編集室
金沢市疋田町ハ302
千坂保育園
石川県連合会事務局内
☎076-258-1321
発行人
平口 哲夫

- ④貧困や格差社会の出現、⑤核兵器開発などの武力競争、⑥経済競争や企業間競争などです。

本とアジアを、欧米のアジア植民地政策から守る大義に立つものでやむを得ぬ選択だった」というものがありました。これは先の戦争を正当化しかねないと思います。また軍部の独走を弁護する一方で、多くの人々の犠牲と苦しみや悲しみを省みない発言であると思えます。

精神面の浄化と向上が不可欠

仏教の人間観には三つの見方があります。その一つ目は、人間は生まれながらに仏性(靈性)を有しているというものです。これはお釈迦様の悟り「一切衆生悉有仏性」によるもので、性善説の元になっています。二つ目は、人間は欲望や煩惱により自己中心的で傲慢であるから厳しく戒めなければならぬというものです。これは性悪説の元にもなっています。三つ目は、人間のこころはくるくると変わりやすく、状況次第では善人にも悪人にもなり得る無常性をもっているというものです。

私は一僧侶として、平和な世界を築きそれを維持して行くためには、仏教の性善説の根拠となる仏性に目覚め、仏性に基づく解決方法を取ることで言う仏性とは、①慈悲と思いやりのこころと菩提心、②悟性により自己の間違いに

暑中お見舞い 申し上げます
株式会社 石野製作所
取締役会長 石野 邑一
本社 千九二八〇二五
金沢市増築五丁目一〇四八
TEL 〇七六二四一七八五
FAX 〇七六二四一七五五
松任工場 白山市源兵衛町一〇〇六
開発センター 白山市八東穂三丁目五

暑中お見舞い 申し上げます
金沢都市開発株式会社
取締役 杉山 栄太郎
代表取締役 村田 秀彦
〒九〇〇九六二
金沢市香林坊一丁目一
TEL 〇七六二二〇一〇〇〇
FAX 〇七六二二〇一五八二